SEKISUIKASEI

2027年3月期第2四半期
決算説明資料

Going Beyond 2027 ～変革と完遂～



積水化成品工業株式会社

（東証プライム　証券コード：4228）

2026年11月11日

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

INDEX

1 FY2026 上期決算概要

2 FY2026 通期業績見通し

3 中長期経営戦略（～FY2030）の進捗

4 資本政策・配当

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

INDEX

1 FY2026 上期決算概要
2 FY2026 通期業績見通し
3 中長期経営戦略（～FY2030）の進捗
4 資本政策・配当

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期決算概要

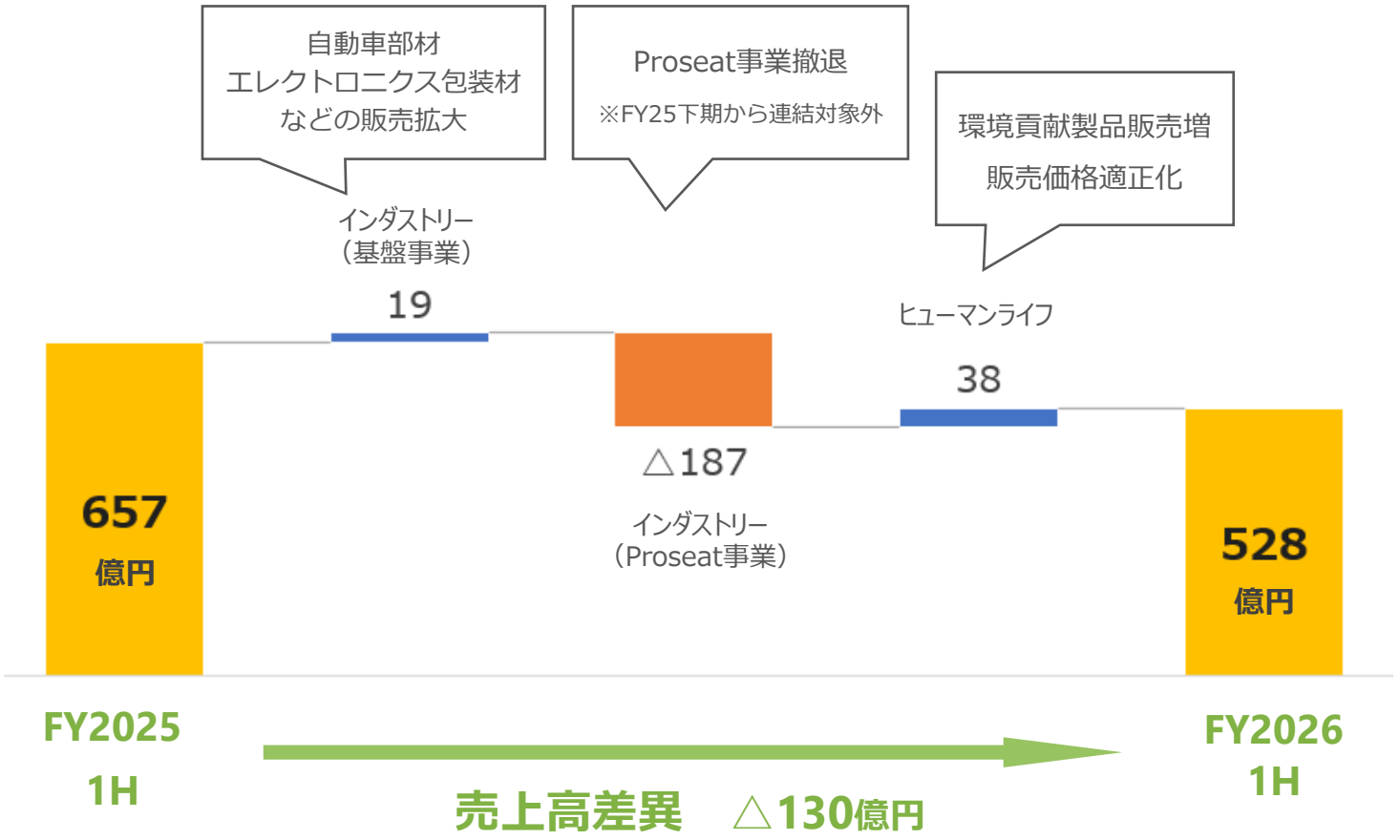
(単位：億円)	FY2025 1H	FY2026 1H		YoY		vs Forecast	
	Result (A)	Forecast (2026.7.31) (B)	Result (C)	(C)-(A)		(C)-(B)	
売上高	657	520	528	△130	80%	+8	101%
営業利益 <営業利益率>	7.8 <1.2%>	16.0 <3.1%>	31.5 <6.0%>	+23.7	404%	+15.5	197%
経常利益	2.1	14.0	26.1	+24.0	1247%	+12.1	186%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△34.7	20.0	26.5	+61.2	－	+6.5	133%

- 前年同期比：欧州Proseat事業からの撤退により「減収」
  一方、収益構造改革や、事業ポートフォリオ変革の進展により「大幅増益」
- 公表予想比：販売数量の増加、販売価格の適正化、生産性改善、固定費削減により「大幅増益」

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期 売上高増減要因（前年同期比）

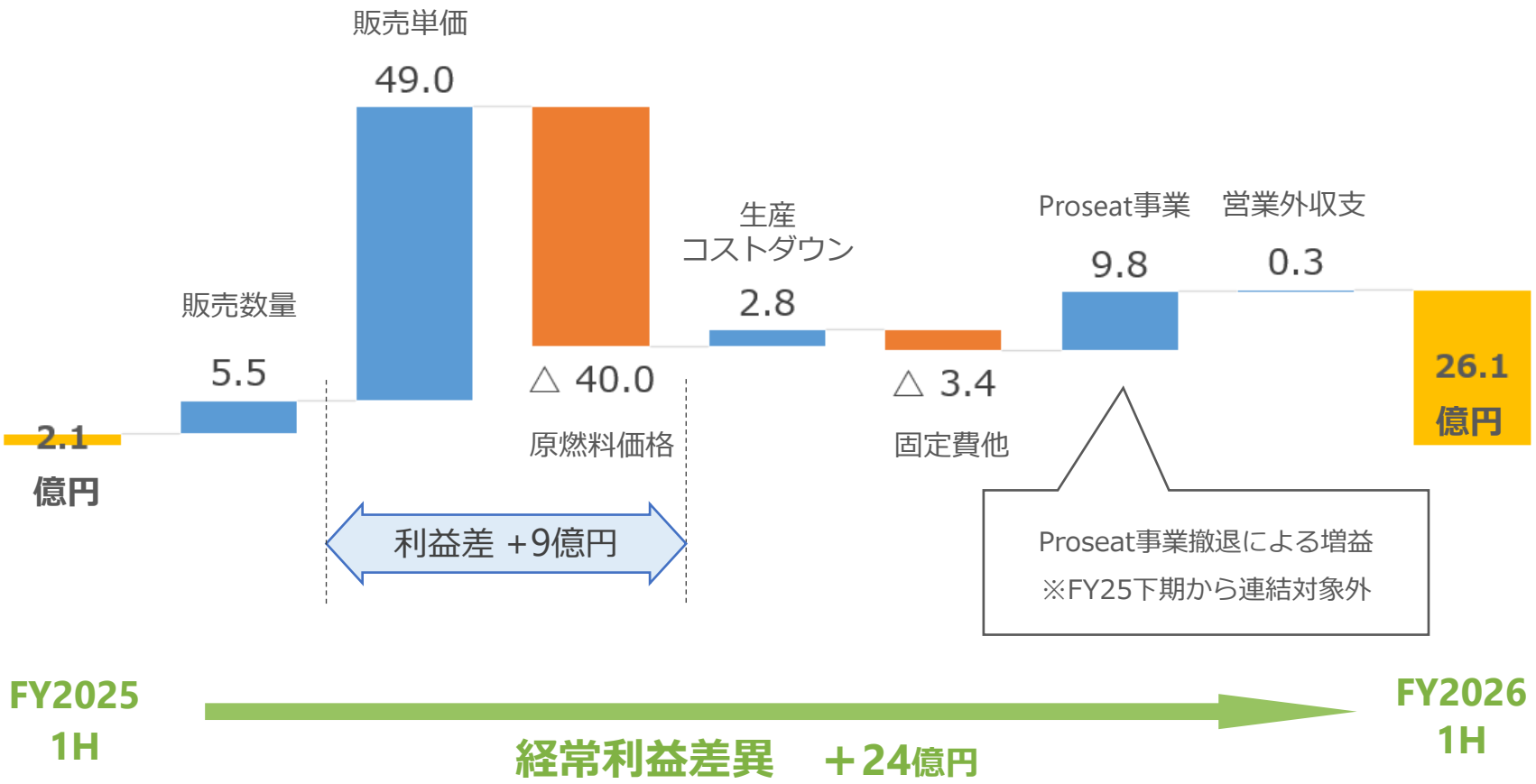
[単位：億円]



Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期 経常利益増減要因（前年同期比）

[単位：億円]



Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期　インダストリー分野

(単位：億円)	FY2025 1H	FY2026 1H		YoY		vs Forecast	
	Result (A)	Forecast (2026.7.31) (B)	Result (C)	(C)-(A)		(C)-(B)	
売　上　高	**393**	**225**	**225**	**△ 168**	**57%**	**+0**	**100%**
(基盤事業)	206	225	225	+19	109%	+0	100%
(Proseat事業)	187	—	—	△ 187	–	—	–
営業利益	**6.6**	**17.0**	**18.8**	**+12.1**	**283%**	**+1.8**	**110%**
<営業利益率>	<1.7%>	<7.6%>	<8.3%>				
(基盤事業)	16.5	17.0	18.8	+2.3	114%	+1.8	110%
(Proseat事業)	△ 9.8	—	—	+9.8	–	—	–

● **前年比「減収・増益」**

・基盤事業　　：自動車部材、エレクトロニクス包装材の販売増などで「増収・増益」

・Proseat事業 ：事業譲渡でFY25-2Hから連結決算の対象外となり「減収・増益」

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期　インダストリー分野（基盤事業）

（単位：億円）	FY2025 1H Result （A）	FY2026 1H Result （B）	YoY (B)-(A)		Reference
売 上 高	**206**	**225**	**+19**	**109%**	
エレクトロニクス	77	83	+6	108%	エレクトロニクス梱包材、ポリマー微粒子など
モビリティ（Proseat除く）	104	116	+12	111%	自動車部材、自動車部品輸送用梱包材など
医療・健康	16	15	△1	92%	高機能ゲル素材、シューズ部材など
その他	9	11	+3	129%	
営業利益	**16.5**	**18.8**	**+2.3**	**114%**	
<営業利益率>	<8.0%>	<8.3%>			

● 前年比「増収・増益」

（売上高）

エレクトロニクス ： ポリマー微粒子、エレクトロニクス包装材の販売増により「増収」
モビリティ　　： 国内外における自動車部材の販売増により「増収」
医療・健康　　： 高機能ゲル素材で増収も、シューズ部材で減収、全体で「減収」

（営業利益）

エレクトロニクスやモビリティ領域の販売増に伴い「増益」

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期　ヒューマンライフ分野

(単位：億円)	FY2025 1H	FY2026 1H		YoY		vs Forecast	
	Result (A)	Forecast (2026.7.31) (B)	Result (C)	(C)-(A)		(C)-(B)	
売 上 高	**265**	**295**	**303**	**+38**	**114%**	**+8**	**103%**
食	228	258	265	+36	116%	+6	102%
住環境・エネルギー	36	37	38	+2	104%	+1	103%
営業利益	**16.3**	**17.0**	**28.9**	**+12.6**	**177%**	**+11.9**	**170%**
<営業利益率>	<6.2%>	<5.8%>	<9.6%>				

● 前年比「増収・増益」

（売上高）

食：シート　　：環境貢献製品の販売が好調で「増収」　（数量：前年比 103%）
　　ビーズ　　：中東情勢懸念による先入れ需要などで「増収」（数量：前年比 101%）
住環境・エネルギー：工事案件の進捗などにより「増収」

（営業利益）

販売数量の増加に加え、生産性改善・販売価格適正化などが寄与し「増益」

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026上期末 財政状況

(単位：億円)	FY2025 (A)	FY2026-1H (B)	vs FYE2025 (B)−(A)
総資産	1,223	1,288	+65
純資産	509	536	+27
自己資本比率	41.0%	41.1%	+0.1%
1株当たり純資産 （円）	1,100円56銭	1,158円74銭	+58円18銭
（参考）自己資本	501	529	+28
現金及び預金	95	123	+28
短期借入金	69	62	△7
長期借入金	247	241	△6
社 債	70	70	±0
有利子負債（リース債務除く）	387	373	△14
D/Eレシオ （倍）	0.77	0.71	△0.06

- 上期の利益計上などにより自己資本が前期末比28億円増加し、自己資本比率が改善
- 中期経営計画に掲げる有利子負債削減が着実に進み、前期末比14億円削減（※詳細 ☞P32）

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

INDEX

1 FY2026 上期決算概要

2 FY2026 通期業績見通し

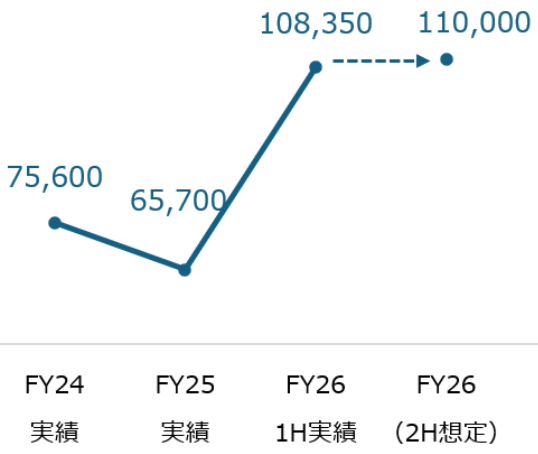
3 中長期経営戦略（～FY2030）の進捗

4 資本政策・配当

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

前提条件

●国産ナフサ価格（円/KL）

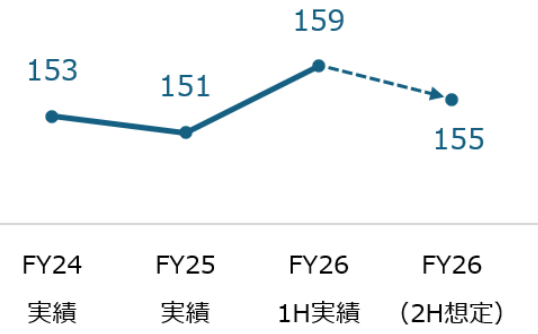


・国産ナフサ価格前提は期初想定を据置き（@110,000円/KL）

FY26期初想定　　：110,000円/KL
FY26 4-6月 実績　：118,900円/KL
FY26 7-9月 速報値：　97,800円/KL　} 1H平均：108,350円/KL

⇒ 今後も原材料市況を注視、調達販売両面で機動的に対応

●為替レート（JPY/USD）



・為替レートの前提条件に変更なし（@155 JPY/USD）

マイナス影響 ： 原材料調達コストの上昇（SMやPSなど）
プラス影響　 ： 当社製品の海外輸出販売や海外事業収益の増加

⇒　為替変動は、おおむね相殺される事業構造

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026 通期見通し（セグメント別）

（単位：億円）	FY2025 Result（A）	FY2026 1H Result	FY2026 2H Forecast	FY2026 Forecast（B）	YoY （B）－（A）	
売上高	**1,139**	528	522	**1,050**	△89	92%
インダストリー（基盤事業）	**420**	225	225	**450**	+30	107%
インダストリー（Proseat）	**195**	–	–	**–**	△195	–
ヒューマンライフ分野	**524**	303	297	**600**	+76	115%
営業利益	**26**	32	21	**53**	+27	208%
＜ 営業利益率 ＞	**2.2%**	6.0%	4.1%	**5.0%**	–	–
インダストリー（基盤事業）	**35**	19	17	**36**	+1	104%
インダストリー（Proseat）	**△11**	–	–	**–**	+11	–
ヒューマンライフ分野	**30**	29	19	**48**	+18	159%
本社コスト	**△28**	△16	△15	**△31**	△3	–

※ 本社コストにはDXシステム費用などを含む

FY2026 通期業績予想を上方修正しました※2026年10月28日 適時開示

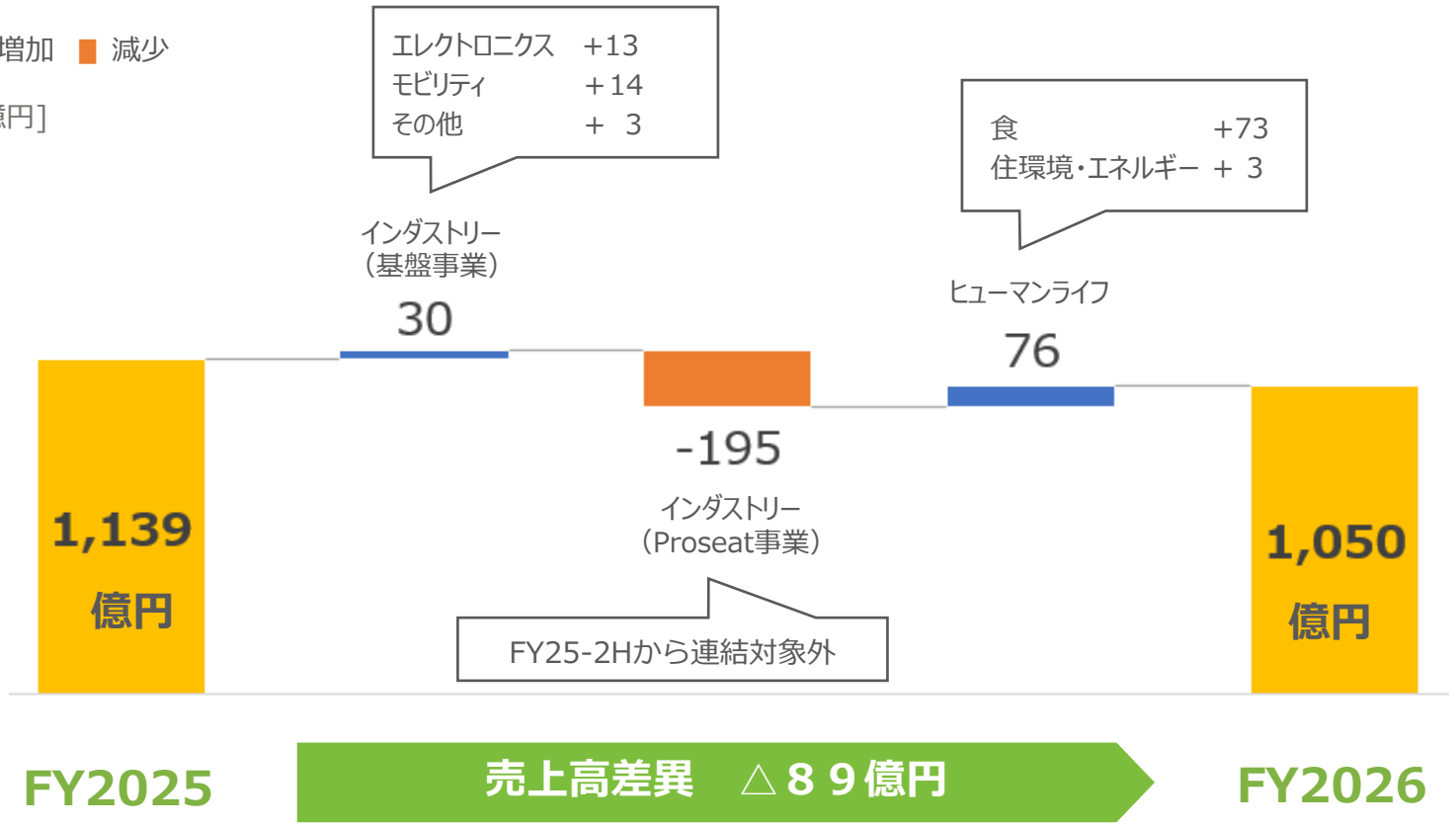
通期営業利益見通し：31億円→ 53億円

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026 売上高増減見通し

■ 合計 ■ 増加 ■ 減少

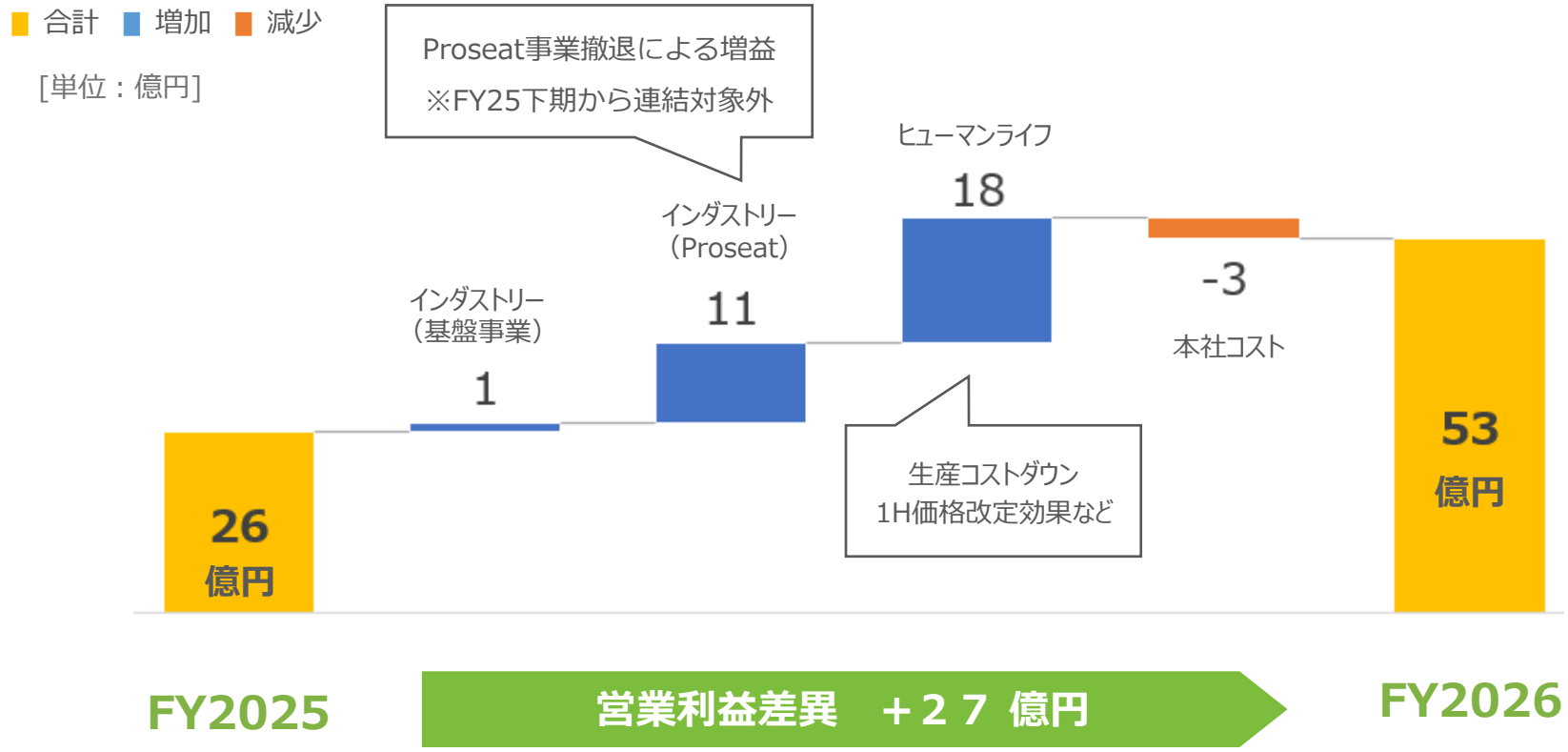
[単位：億円]



基盤事業で「増収」、Proseat事業撤退（スリム化）で「減収」
全体では「減収」の見通し

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026 営業利益増減見通し



Proseat事業撤退（スリム化）に加え、
既存事業の販売拡大と収益改善施策の継続により「増益」の見通し

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026 通期見通し（インダストリー分野）

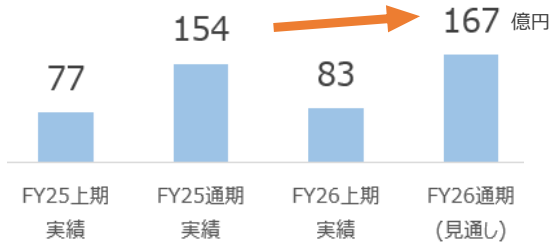
（単位：億円）	FY2025 Result （A）	FY2026 1H Result	FY2026 2H Forecast	FY2026 Forecast （B）	YoY （B）－（A）	YoY
売 上 高	**420**	225	225	**450**	+30	107%
営業利益	**35**	19	17	**36**	+1	104%
<営業利益率>	<8.3%>	<8.3%>	<7.7%>	<8.0%>	－	－

エレクトロニクス・モビリティの事業成長で、通期「増収・増益」の見通し

エレクトロニクス

包装材「増」
ポリマー微粒子「増」

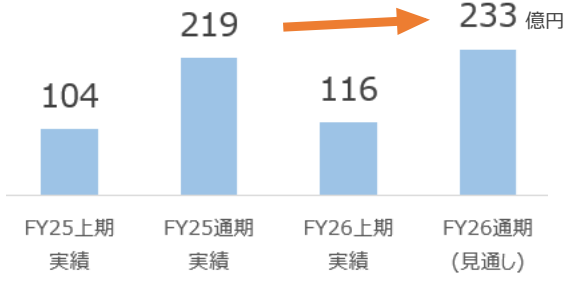
トータルで「増収」



モビリティ（基盤事業）

梱包材「減」
自動車部材「増」

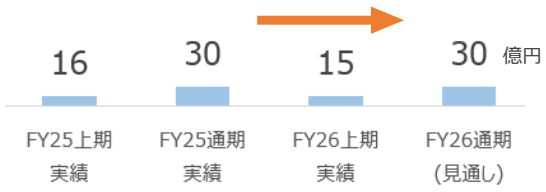
トータルで「増収」



医療・健康

シューズ部材「減」
高機能ゲル素材「増」

トータルで「前年並み」



Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

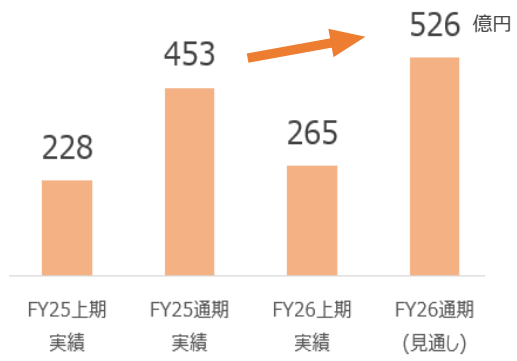
FY2026 通期見通し（ヒューマンライフ分野）

(単位：億円)	FY2025 Result (A)	FY2026 1H Result	FY2026 2H Forecast	FY2026 Forecast (B)	YoY (B) – (A)	YoY
売 上 高	**524**	303	297	**600**	+76	115%
営業利益	**30**	29	19	**48**	+18	159%
<営業利益率>	<5.8%>	<9.6%>	<6.4%>	<8.0%>	–	–

数量増・販売価格適正化で、通期「増収・増益」の見通し

食

前年比「増収」

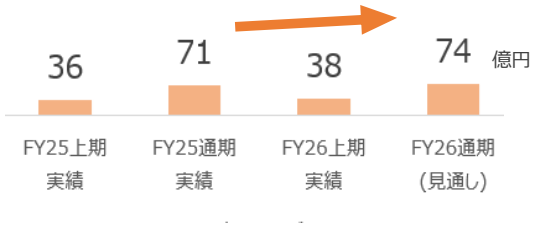


シート（数量）
当社「増」※業界全体も「増」
- 食品トレー　前年比　「増」
- カップ麺・丼容器　〃　「減」
- 折箱弁当容器　〃　「増」

ビーズ（数量）
当社「前年並み」※業界全体は「減」
- 水産　前年比　「減」
- 農産　〃　「増」
- 弱電　〃　「増」
- 建材土木　〃　「増」
- ライフグッズ　〃　「大幅減」

住環境・エネルギー

前年比「増収」



Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

INDEX

1 FY2026 上期決算概要

2 FY2026 通期業績見通し

3 中長期経営戦略（～FY2030）の進捗

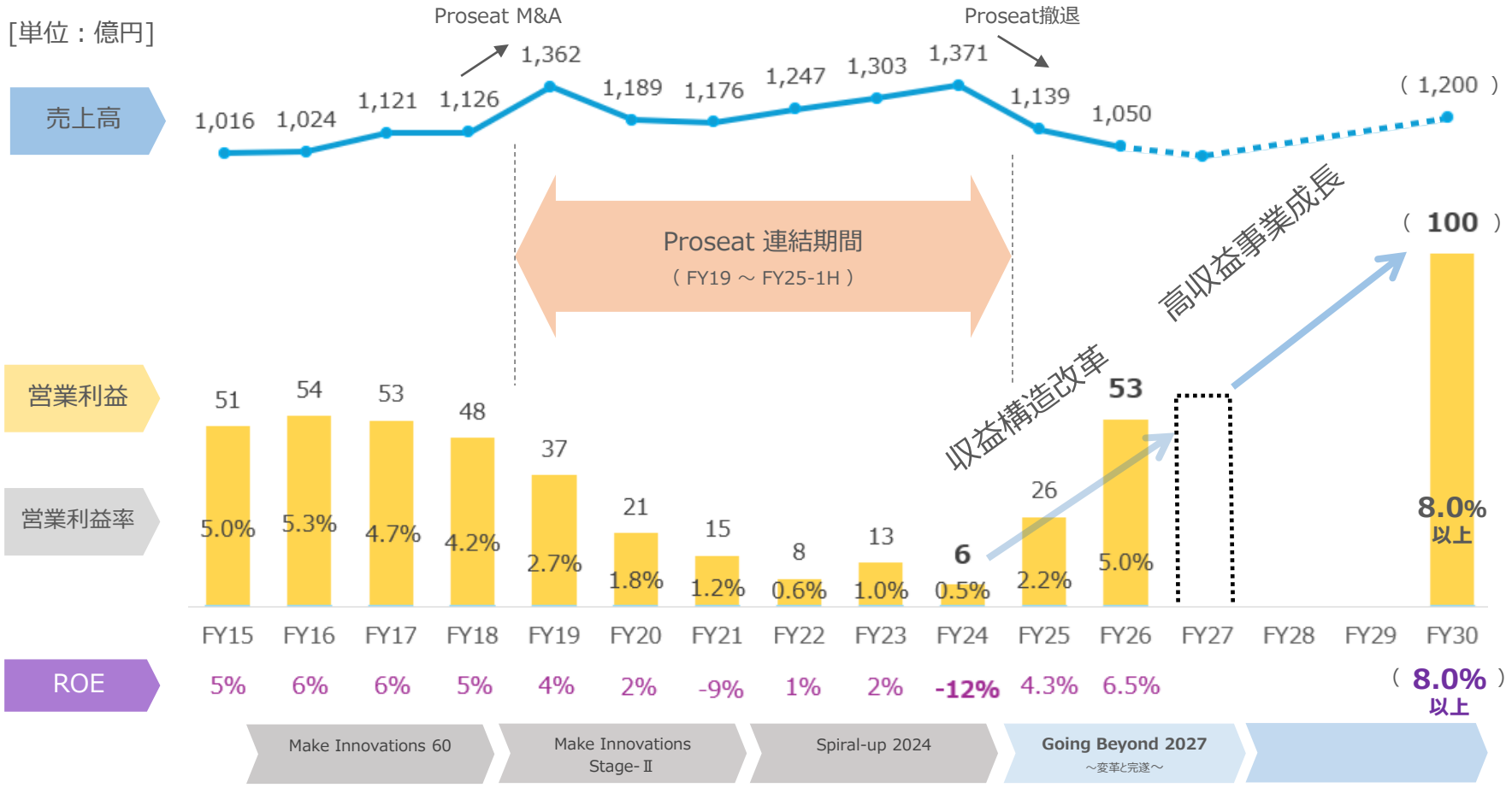
4 資本政策・配当

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略の概要

Target2030

収益構造改革と高収益事業成長を完遂し、営業利益率８％以上・ROE８％以上を早期に実現



FY2027の業績見通しは、従来公表値を再精査のうえ 2027年5月に開示予定

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略の進捗

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
高収益事業成長	**新たな収益源による成長** ・エレクトロニクス（ポリマー微粒子） ・モビリティ（自動車部材） ・食（シート事業） を成長ドライバーに事業展開		＋42億円
収益構造改革	**既存事業の収益改善** ・ビーズ事業など		＋ 8億円
	合理化 ・省力化、最適人員・配置の見直し ・本社コスト削減		＋10億円
	スリム化 ・低採算事業の撤退、拠点の統廃合 ・不要資産の廃棄・売却		＋35億円

FY30 営業利益100億円（FY24比 ＋94億円）

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略の進捗

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	スリム化 ・低採算事業の撤退、拠点の統廃合 ・不要資産の廃棄・売却		＋35億円

〇 Proseat事業撤退　FY24比 +30億円

・FY25	+20億	FY25上期に事業譲渡を完了	FY24比 ＋30億円
・FY26	+10億	FY25通期 約10億円の赤字 → FY26はゼロに	

計画通り「撤退完了」　（FY24比 +30億円増益）

〇 その他　　FY24比 ＋ 5億円

・FY25	＋1.8億	積水化成品関西神戸工場閉鎖など	FY24比 ＋5億円
・FY26	＋2.1億	台湾成形工場の一部売却など	
・FY27	＋1.1億	国内外の低稼働資産の整理縮小など	

計画通りに「進行中」 FY27末までに＋5億円の増益効果を見込む

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略の進捗

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	合理化 ・省力化、最適人員・配置見直し、本社コスト削減		＋10億円

○ 生産省力化など　　FY24比 ＋10億円

- FY25　＋0.3億円　加工工場自動化設備導入
- FY26　＋2.5億円　外部倉庫費用削減、省人化プロセス導入
- FY27　＋3.2億円　生産拠点・人員再編

FY24比　＋6億円

- FY30　＋4.0億円　DX取り組み効果発現

FY24比 ＋10億円

計画通りに「進行中」 FY26は前年比で+2.5億円の増益効果

○ 本社コスト削減　　FY24比　±0億円

- FY25　＋ 1 億円（29億円 → 28億円）
- FY26　△ 3億円（28億円 → 31億円）
- FY27　△ 1億円（31億円 → 32億円）

労務費、システム関連費用増加

FY24比　△3億円

- FY30　＋ 3億円（32億円 → 29億円）

FY24比　±0億円

FY26は労務費・システム関連費用の増加影響で一時的にコスト増

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略の進捗

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	既存事業の収益改善		＋ 8億円

○ EPSビーズ事業　FY24比 ＋3億円

- FY25　＋0.5億
- FY26　＋0.6億
- FY27　＋0.9億
- FY30　＋1.0億

環境貢献製品拡販を通じた収益改善
（フードテック・防災/国土強靭化分野など）

FY24比 ＋2億円

FY24比 ＋3億円

計画通りに「進行中」FY26は＋0.6億円の増益効果

○ 高機能ゲル事業　FY24比 ＋５億円

- FY25　＋0.7億円
- FY26　＋0.8億円
- FY27　＋0.5億円
- FY30　＋3.0億円

ゲルロールのグローバル販売拡大（心電・TENS）

新規用途展開（血糖値や脳波測定など）

FY24比 ＋2億円

FY24比 ＋5億円

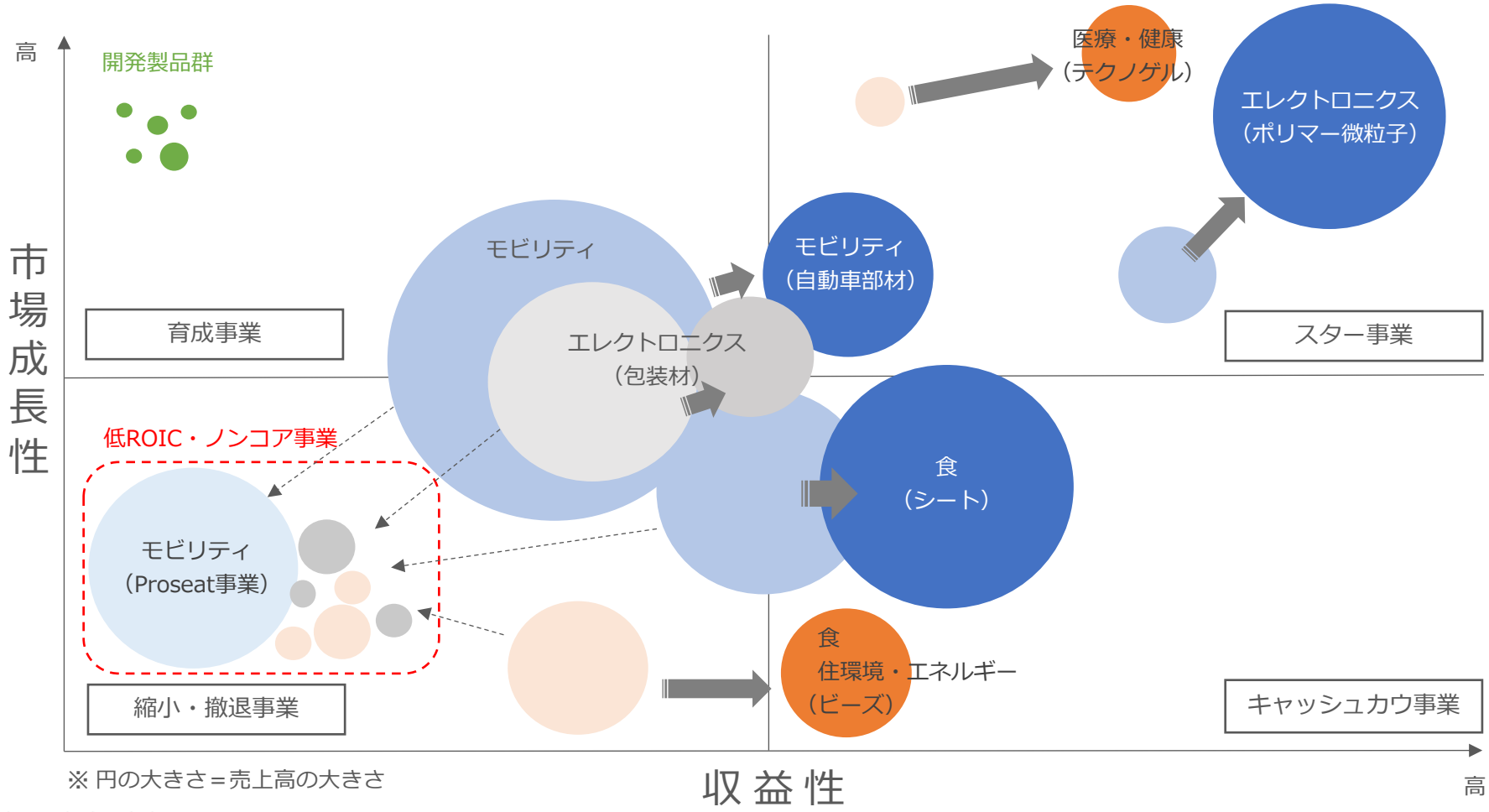
計画通りに「進行中」 FY26は前年比＋0.8億円の増益効果

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

中長期経営戦略（事業ポートフォリオマトリックス）

Target2030

●収益性の高い事業ポートフォリオへの転換を着実に実行中



Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

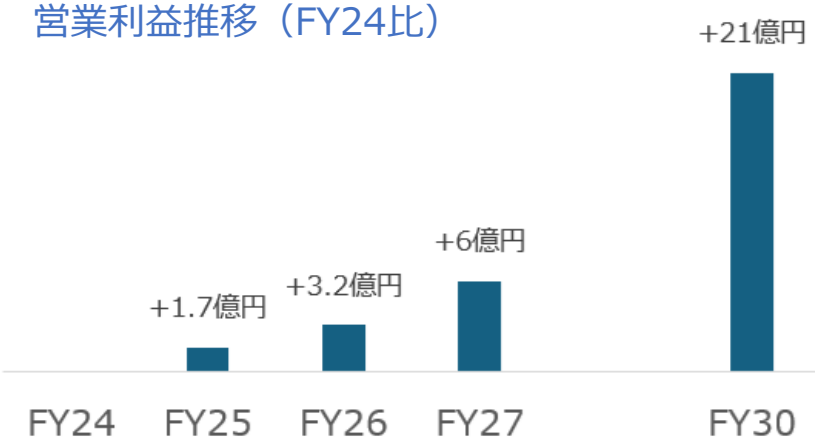
中長期経営戦略の進捗（エレクトロニクス／テクポリマー®）

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	新たな収益源による成長 ・エレクトロニクス（ポリマー微粒子） ・モビリティ（自動車部材） ・食（発泡シート事業） を成長ドライバーに事業展開		＋42億円

○ エレクトロニクス（ポリマー微粒子）

営業利益推移（FY24比）



主な増益要因

● 既存用途の販売数量増

・液晶ディスプレイ、塗料、ライティング部材向け添加剤

●新規用途の採用と事業拡大

・半導体・電子材料向け低誘電フィラー（中空微粒子・軟質微粒子）

・次世代ディスプレイ高精細化添加剤　（中空ナノ粒子）

当社のなかで最も高い収益性を有するスター事業
既存用途での販売数量増と新規用途展開で、最大の利益成長を見込む

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

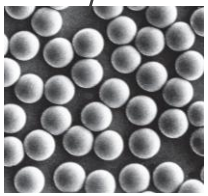
成長ドライバー（エレクトロニクス／テクポリマー®）

Target2030

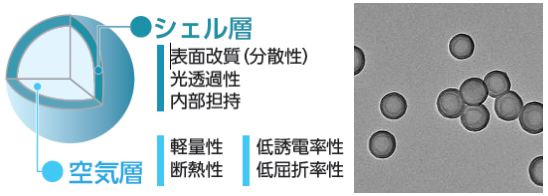




ポリマー微粒子
「テクポリマー」



（当社の強み）
独自の重合技術、用途に応じたカスタマイズ対応力



新プラントの概要	
建設地	滋賀県甲賀市
投資額	約30億円
稼働開始	2030年4月（予定）
供給用途	半導体・電子材料用途ほか幅広い用途を想定

※2026.10.28付ニュースリリース「高機能ポリマー微粒子テクポリマーの新プラント建設を決定」
URL: https://www.sekisuikasei.com/jp/a.php?id=853

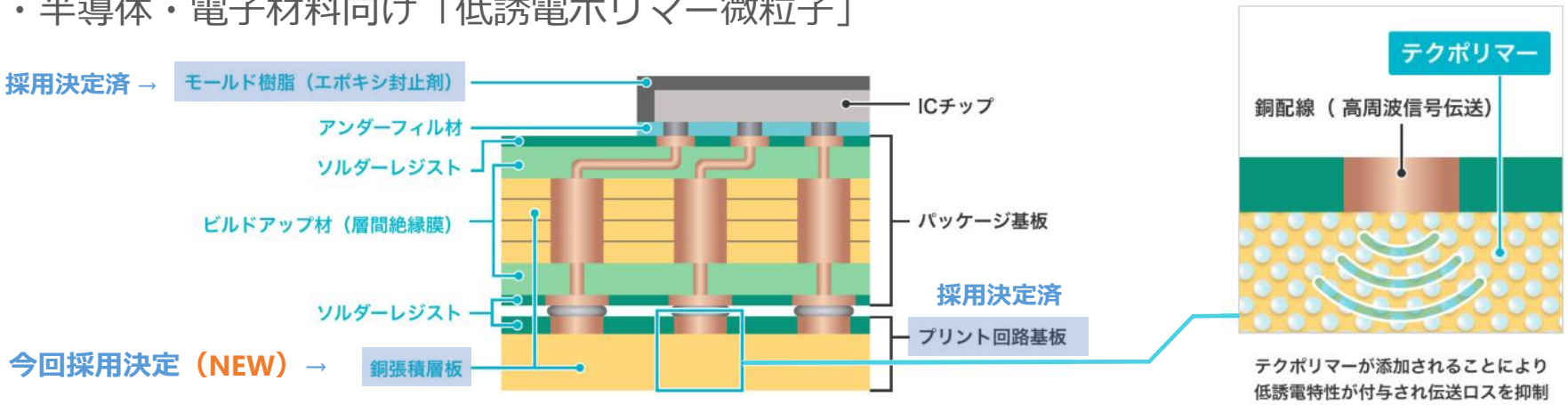
既存用途での販売伸長に加え、新規用途による中長期的な需要増加が見込まれ、
「テクポリマー」の新プラント建設を決定

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

成長ドライバー（エレクトロニクス／テクポリマー®）

Target2030

・半導体・電子材料向け「低誘電ポリマー微粒子」



顧客	用途	採用理由	摘要
半導体封止材メーカー	エポキシ封止材の低誘電化	・誘電率（Dk値） ・中空形状維持 などの 材料優位性	**採用決定済**
プリント基板材料メーカーA社	プリント基板向け熱硬化性インキの低誘電化		**採用決定済**
プリント基板材料メーカーB社	プリント基板向け熱硬化性インキの低誘電化		採用見込み
プリント基板材料メーカーC社	銅張積層板（CCL）の低誘電化		採用見込み
高機能・次世代CCLメーカー	銅張積層板（CCL）の低誘電化		**採用決定（NEW）**

銅張積層板（CCL）への低誘電フィラーとして新たに採用が決定
顧客評価中の案件が多数あり、多数の部位や用途が採用・量産へ移行していく見通し

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

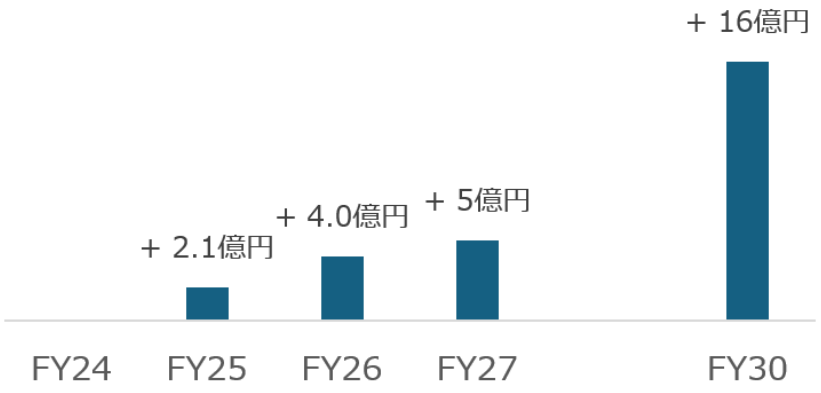
中長期経営戦略の進捗（モビリティ／自動車部材事業）

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	新たな収益源による成長 ・エレクトロニクス（ポリマー微粒子） ・モビリティ（自動車部材） ・食（シート事業） を成長ドライバーに事業展開		＋42億円

○ モビリティ（自動車部材）

営業利益推移（FY24比）



主な増益要因

- ●素材競争力向上（ピオセラン2.0）
  - → 日系OEM向け受注件数増加
- ●顧客拡大（欧米系OEM展開）
  - → 欧州OEM向け量産販売を開始 ※FY26-1H～
- ●新製品 x 新用途（フォームコア材）
  - → 次世代モビリティへの事業領域拡大

先行受注の積み上げ状況からFY27までの成長が確実
FY30へは、欧米系OEM向け販売拡大やフォームコア材事業などによる成長を見込む

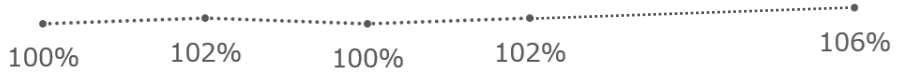
Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

高収益事業成長（モビリティ／自動車部材事業）

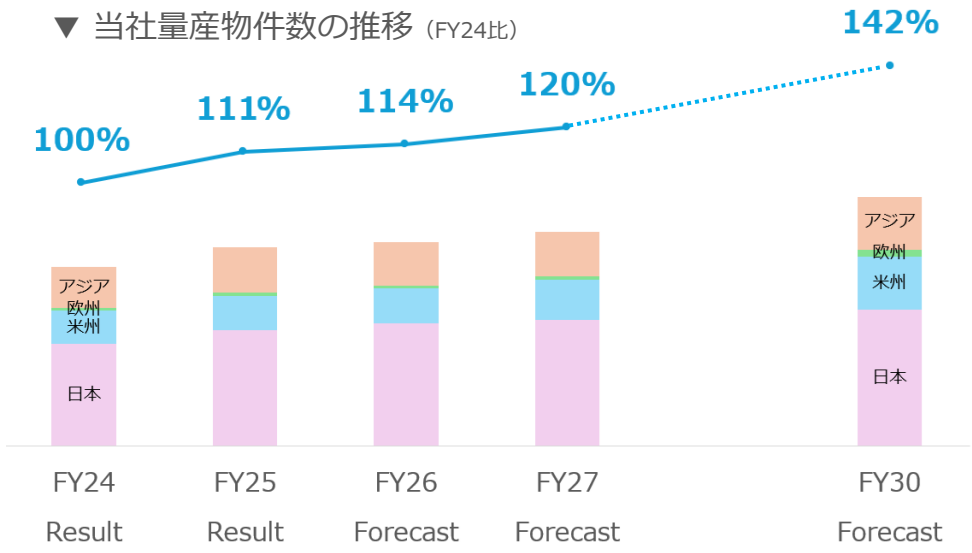
Target2030

●当社量産物件数の推移

▼ 世界自動車生産台数（FY24比 当社調べ）



▼ 当社量産物件数の推移（FY24比）



●生産能力増強

北米需要増に伴う能力増強を完了（FY26-1H）



Sekisui Kasei U.S.A., Inc. テネシー工場

●欧米系OEM展開

Proseatとのシナジーにより、
当社初の欧州系OEM向け自動車部材供給を開始



物件概要（2026.11月時点）

- 量産開始：1車種
- 量産予定：4車種
  ※予定のうちFY27は２車種
- 納入先：北米

当社受注物件数の伸びは、市場成長率（世界自動車生産台数）を大きく上回る推移

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

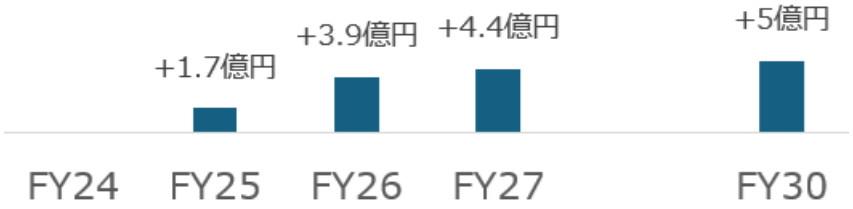
中長期経営戦略の進捗（食／発泡シート事業）

Target2030

	FY25～27	FY28～30	増益効果
	新たな収益源による成長 ・エレクトロニクス（ポリマー微粒子） ・モビリティ（自動車部材） ・食（発泡シート事業） を成長ドライバーに事業展開		＋42億円

○ 食（発泡シート事業）

営業利益推移（FY24比）



主な増益要因

●環境貢献製品の拡販

プラ使用量削減・資源循環製品への需要増加

→ 低発泡PSP・リサイクル材活用製品

●機能性シートの開発・投入

→ 発泡HIPS・発泡PP・バイオマス発泡シート
縦型容器用PSPなど

発泡ポリスチレンシート（PSP）の業界トップシェアを堅持しつつ
機能性シートの開発・投入による「他素材市場への展開」で高成長を図る

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

成長ドライバー（食／発泡シート事業）

Target2030

発泡HIPSシート ※HIPS：耐衝撃性ポリスチレン

エスレンシートFL

- 省資源
- 断熱性
- 保温・保冷



非発泡HIPS容器と比べ
約40%軽量化 ＋ 保温・保冷性を向上

発泡PPシート

冷凍食品容器向けシート

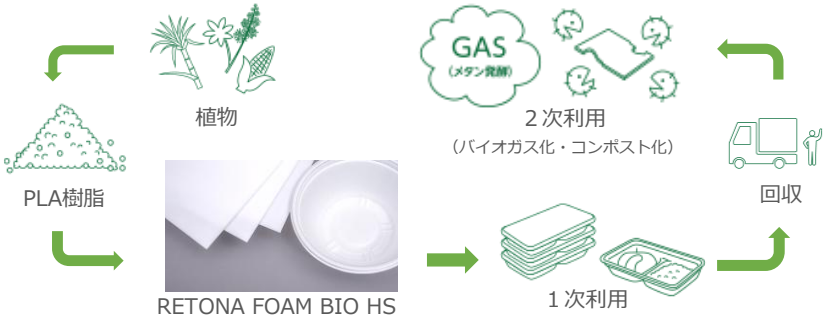
- 省資源
- 断熱性
- 保温・保冷

耐寒　耐熱



生分解発泡シート

RETONA FOAM BIO HS



発泡PETシート

セルペット

- 省資源
- 断熱性
- 保温・保冷

高耐熱
約220℃



発泡シートが持つ省資源性（プラ使用量削減）や、機能性（保温・保冷）を武器に
従来「非発泡プラ容器」や「紙容器」が使用されている用途へ進出

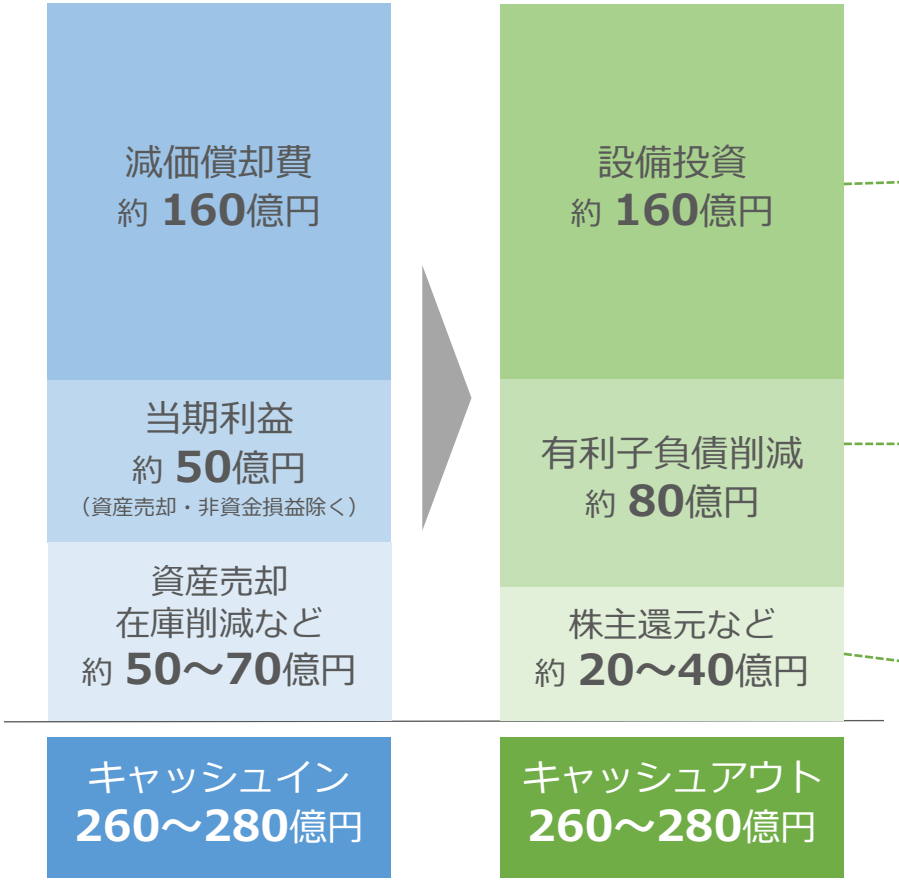
Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

INDEX

1 FY2026 上期決算概要
2 FY2026 通期業績見通し
3 中長期経営戦略（～FY2030）の進捗
4 資本政策・配当

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーション　（FY25-27 中期経営計画期間）



●成長投資　82億円

ポリマー微粒子関連	30億円
米州モビリティ能力拡大	10億円
エレクトロニクス能力拡大	10億円
その他	32億円

●その他投資　78億円

●有利子負債 20%削減

・FY24末約390億円→約310億円（約80億円削減）

●株主還元

・連結配当性向30～40%を目途に、株式市場や業績の動向も踏まえ総合的に判断する

・株式市場の環境や資本の状況も勘案し、機動的な自己株取得により総還元性向を高めていく

営業キャッシュフローと投資キャッシュフローのバランスを図り
財務の健全性を維持する

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

FY2026 設備投資概要

（単位：億円）	FY20 Result	FY21 Result	FY22 Result	FY23 Result	FY24 Result	FY25 Result	FY26 1H Plan	FY26 1H Result	FY26 Forecast
設備投資額	54	38	37	51	64	52	(23)	29	53
減価償却費	62	62	57	57	61	51	(26)	25	53

●主な設備投資

FY26 上期実績 ※完工・検収ベース

●能力拡大
国内　エレクトロニクス用発泡シート
北米　成形加工工場設備

●合理化
国内　シート製造省力化
国内　成形工場省電力化　　など

FY26 下期予定 ※申請ベース

●能力拡大
国内　ポリマー微粒子 新規プラント建設
北米　モビリティ部材生産設備

●生産効率化・環境対応
国内　成形工場倉庫合理化
国内　ボイラー燃料転換
台湾　ピオセラン生産性向上　　など

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

株主還元（配当）

	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26（予定）
1株当たり当期純利益（円）	51.29	24.86	△ 130.99	10.00	23.90	△ 138.28	47.15	81.00
1株当たり配当金（円）	30	21	12	12	13	3	15	25
配当性向（%）	59%	85%	–	–	54%	–	31.8%	30.9%
総還元性向※	59%	97%	–	120%	54%	–	31.8%	
ROE	3.6%	1.6%	–	0.8%	1.9%	–	4.3%	
自己株式消却（万株）	–	–	–	–	–	–	–	

※ 総還元性向 =（自己株式取得額＋配当総額）/ 当期純利益

●配当方針

・株主還元　：連結配当性向30～40%を目途に、株式市場や業績の動向も踏まえ総合的に判断する

・自己株取得：株式市場環境や資本の状況も勘案し、機動的かつ弾力的に実施する

●配当予想の修正　※2026年10月28日適時開示

・前回発表予想　中間5円＋期末12円＝年間17円/株

・今回修正予想　中間8円＋期末17円＝年間25円/株（増配：年間+8円/株 ）

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は
当社が現在入手している情報および合理的であると判断する
一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因
により大きく異なる可能性があります。

★内容に関するお問合せは
コーポレートコミュニケーション部 E-mail：ir_pr@sekisuikasei.com

★当社のホームページもあわせてご覧ください。
アドレスは　http://www.sekisuikasei.com/

Copyright: SEKISUI KASEI Co., ltd. All Rights Reserved.

SEKISUIKASEI

Our Planet. Our Tomorrow.